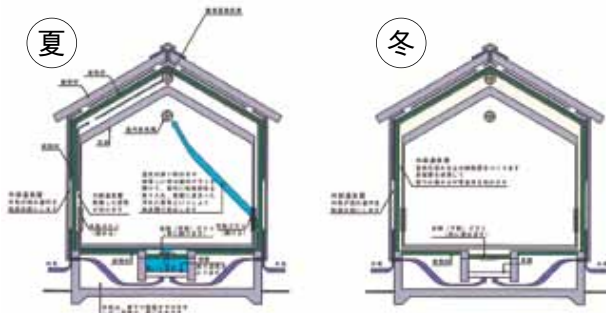


天然素材にこだわる 安心・安全・ 省エネの家



建築

除湿二重
通気工法



JWB 工法 施工例



建築工房 高松銘木店

空気の循環を最大限に利用
自然素材で快適な住環境を提供

天然無垢材と匠の技で環境配慮型の住まいづくりを展開する高松銘木店。材木商として創業し、木造建築文化の知識を深めるうちに、木の温かみを生かせる家を追求して家づくりの最後まで責任を持ちたい、と工務店を設立した。

同社が独自に開発した住宅建築「JWB（除湿ダブルプレス）工法」は、室内の除湿・換気を重視し、年間を通して家全体の空気が循環するように工夫を凝らした工法である。床下に炭を敷き、壁と屋根に二重の通気層を作ること、夏は炭で除湿された空気が壁の中や部屋を流れ、屋根裏の換気扇から熱と共に排出されるという仕組みだ。冬はガリリを閉じることで、空気の断熱層を作って部屋が暖められ、床下の炭の調湿効果で結露の発生を抑えることもできる。四季に応じて家の空気循環を変えよう、という発想から生まれた工法であり、これまでに100件以上を施工。夏は涼しく冬は暖かいことから、光熱費が削減できた、と多くのお客様に喜ばれている。この「JWB工法」に、同社は床組を剛床構造にして耐震性を



アップさせ、長期優良住宅に対応している。

さらに床材には国産檜の無垢材を使用。檜の防蟻・防虫効果と通気性の良いJWB工法の組み合わせにより害虫駆除剤などが不要で、同社はシックハウス症候群に悩む人、化学物質に敏感な人などからの相談も多いという。

「檜以外の無垢材や、床に敷く炭、壁の断熱材も厳選したものを使い、無垢材を磨くワックスも、自社で製造したミツロウワックスを使っています」と高松信二専務は、世代を重ね、愛着を持って安心して暮らせる家づくりへのこだわりを語る。

銘木を扱ってきた知識を生かし
後進の育成にも尽力

同社は材木商のときから、無垢材の中でも高級な「銘木」を扱っており、良質の木材を知り尽くしていることが大きな強みといえる。高松信陽代表は、国家プロジェクトである「大工育成塾」で長年講師（木材学・日本の木の文化）を務め、平成20年には第20回国土交通大臣賞を受賞するなど、大工の育成にも尽力している。

「日本は湿気が高く、四季がある。その中で、丈夫で長持ちする家を築き上げてきた先人の知恵を、若い人たちにもしっかりと伝えたいですね」と高松代表。伝統を重んじながら、新しい技術を取り入れていく家づくりの姿勢に注目度は高まっている。

Company Profile

建築工房 高松銘木店

(平成29年、高松銘木店より名称変更)

住所 / 〒591-8034 堺市北区百舌鳥陵南町2-663

設立 / 昭和45年

資本金 / 1,000万円

従業員 / 7名

TEL / 072-277-8858

FAX / 072-277-8859

URL / <http://www.takamatsu-meibokuten.com/>

主な事業内容

建築業一式（注文建築・設計・施工、リフォーム工事、木材販売、不動産売買）

当社のECO-Vision!

これからは環境に配慮した家が選ばれる時代。夏涼しく、冬暖かい家なら快適に過ごせ、光熱費も少なくなります。省エネが可能な「JWB工法」を多くのの人に知ってもらえるよう、これからもPRしていきたいですね。

左：代表 高松 信陽さん

右：専務 高松 信二さん

